※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	倫理　（東京書籍）						
副教材等	最新 倫理資料集 テオーリア　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

グローバル化や科学技術の高度な発展，情報化の加速化，少子高齢化の進展など，現代社会が抱える様々な課題とともに，青年期における自己形成の課題及び人間としての在り方生き方についての理解と思索を深めることが高等学校の生徒には求められています。このような趣旨を踏まえ，第１編「現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方」を学習したのちに，第２編「現代の諸課題と倫理」で取り上げられている現代社会の諸課題について主体的に考察する態度を養います。

2　学習の到達目標

①青年期における自己形成の課題について，現代の倫理理的課題や人間の心の働きとともに理解と思索を深め，他者とともに生きる自己の在り方生き方について考えます。
②先哲の基本的な考え方の理解を手掛かりとして，人間の存在や価値に関わる課題について思索し，人生観・世界観・価値観などを形成し，自己の人格形成に努める実践的態度を身につけます。
③日本の伝統的な人間観，自然観，宗教観などの特質について，自己との関わりの中で理解し，日本人としての在り方生き方について自覚を深めます。
④現代の倫理的課題や生徒の当面する課題について，先哲の考え方を学びつつ，倫理的な見方や考え方を身に付け，主体的に課題を解決していくための能力や態度を身につけます。
⑤人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を涵養し，現代の倫理的課題を自己の課題と関連づけて探究し，論理的思考力や表現力を身に付けて，平和で民主的な社会の実現に寄与する態度を身につけます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○青年期における自己形成や人間の在り方生き方，現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を自己の課題として理解している。 ○さらに，自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。 ○自己形成や人間としての在り方生き方，現代の倫理的課題に関して資料を収集，整理し，情報を選択している。	○他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し，現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を，様々な方法で論理的に表現している。	○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており，人格形成や自己形成の確立に努める意欲を持っている。 ○倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ，人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人間の心のあり方	人間とは何か 人間の心の働き	a：青年期や人間心の働きについて基本的な知識がみについている。 考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b：青年期や人間の心の働きについて、多角的に考察し、判断できる。 意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c：青年期を生きる人間として、心の働きを踏まえて自己を見つめ、社会との関係について理解を深め、課題について主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 討論
	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	哲学すること ギリシャの思想 宗教と社会 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想 芸術	a:古代ギリシャ思想や三大宗教、古代中国思想 について基本的な知識がみについている。 考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b：古代思想や宗教について、多角的に考察し、判断できる。 意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c：古代思想や宗教・芸術について理解を深め、課題について主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 討論

※令和４年度以降入学生用

	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳と人倫の思想 社会変革の思想 理性への疑念 人間観・言語観の問いなおし 他者・自然とのかかわり	a：近代西洋の人間尊重（ルネサンス・宗教改革）について基本的な知識がみについている。 考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b：科学的思考や社会主義、功利主義などについて、多角的に考察し、判断できる。 意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c：近現代西洋思想について理解を深め、自然や他者との関わりに関する課題について主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 討論
後期	国際社会に生きる日本人としての自覚	日本人の精神風土 仏教と日本人の思想形成 儒教と日本人の思想形成 国学の思想 庶民の思想 西洋思想と日本人の近代化 国際社会に生きる日本人の自覚	a：古代から現代にかけての日本人の思想・宗教とその変容について基本的な知識がみについている。 考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b：古代から現代にかけての日本人の思想・宗教とその変容について、多角的に考察し、判断できる。 意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c：古代から現代にかけての日本人の思想・宗教とその変容について理解を深め、課題について主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 討論

※令和４年度以降入学生用

	現代の諸課題と倫理	生命 自然 科学技術 福祉 文化と宗教 戦争と平和	a: 生命倫理や環境倫理・情報倫理などについて基本的な知識がみについている。 現代におけるさまざまな課題に対する考察のための資料を適切に選択し、情報を得ることができる。 b: 現代における家族のあり方や社会との関係づくりについて多角的に考察し、判断できる。意見を交換し、より深い理解を追求できる。 c: 現代の文化・宗教や戦争などの課題について倫理的問題を考察し、主体的に取り組もうとしている。	考査 小テスト	考査 レポート	レポート 発表 討論

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度